

自由に踊ろう! 自分らしく楽しもう!



北星学園大学には体育系・文化系合わせて約50のサークルがあります。その中から今回は「ストリートダンスサークル“流”」をピックアップ。アメリカの路上から生まれた、自由闊達でエネルギッシュなダンスに魅せられた学生たちの活動をご紹介します!

●お話を聞いた人
ストリートダンスサークル“流”部長
文学部 英文学科 3年
まつもと まひろ
松本 万寛さん

Discover 01

**経験の有無は関係なし!
誰もがダンスを楽しんでいます**

〈ストリートダンスサークル“流”〉は、ストリートダンスが大好きな学生約120名が所属するビッグスケールのサークル。ダンス経験者だけでなく大学入学を機にダンスを始めたビギナーも多く、経験の有無に関わらず誰でも気軽に参加できる大らかな雰囲気が魅力です。普段はヒップホップやジャズ、ジャズファンク、K-POPなどのジャンルごとに練習会を実施。毎年秋の大学祭「星学祭」をはじめとする学内イベントや発表会などでパフォーマンスを披露しています。主な練習場所は体育館地下1Fのサブアリーナ。自分たちで振り付けや構成を考え、備え付けの壁面鏡で動きを確認しながらブラッシュアップしていきます。練習中はみんな真剣そのものですが、終了後にはおしゃべりをして交流を楽しみ、和気あいあいとした雰囲気です。



Street Dance Circle RYU

Discover 02

ダンサーとして、リーダーとして
成長できる手応えを感じています

ストリートダンスサークル“流”部長
文学部 英文学科 3年
まつもと まひろ
松本 万寛さん

小学1年生からストリートダンスを始めた松本さん。現在はスタジオレッスンと並行してサークル活動を行っており、「スタジオでは個人のスキルアップ、サークルは仲間とともに成長することを大切にしています。これらが両輪となり、バランス良くダンスに向き合っている気がします」と語ります。「部長として100人規模のサークルをまとめるのは大変ですが、メンバーの多様な意見を尊重し、独断を避けて多角的に物事を考えるよう心がけています」と松本さん。昨年はK-POPガールズチームのリーダーも務めました。「選曲から振り付け、衣装までゼロから企画する難しさを痛感しましたが、仲間や先輩に支えられてパフォーマンスを完成させることができました。発表会では多くの方から『良い作品だった』と言ってもらい、仲間とともに舞台を作り上げる喜びを実感しました。後輩たちにもこの気持ちをぜひ味わってほしいですね」



Street Dance Circle RYU

Discover 03

教室以外の居場所と仲間のおかげで
大学生活がっすう豊かに！

“流”に所属しているメンバーは、学科も学年もさまざま。松本さんのように学内外でダンスに打ち込む学生もいれば、他サークルやアルバイトと掛け持ちしながら楽しむ学生もいるし、大学生活や進路に対する考え方も多種多様です。「それでも“流”の活動から得られるものは大きい」と松本さんと言います。「キャンパスに教室以外の居場所ができ、学部垣根を越えた仲間とつながる経験は、大学生活をいっすう豊かにしてくれるもの。サークル運営などに携わることになれ

▼Instagram



STREETDANCE_RYU



ば、さらに大きな成長のチャンスが得られます。私はこれまでリーダーの役割を担うことが多く、就活でもリーダーシップを発揮できる仕事を希望していましたが、“流”の活動を通して『リーダーの仕事は多くの人の支えなしには回らない』と実感。将来はリーダーを陰でサポートする仕事がしたいと思うようになりました。少しでもストリートダンスに興味がある方には、ぜひ“流”で自由に自分らしくダンスを楽しみ、心身ともに成長できる喜びを体感してほしいと思います！」



本学WEBサイトコンテンツ「サークルStory」で
ストリートダンスサークル“流”の紹介動画を閲覧できます。

https://entry.hokusei.ac.jp/starchannel/streetdance_ryu/

